

授業科目名	産学連携実習	講師名	大滝 秀一
実施 学科・クラス	専攻科	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	演習	場所 (校内・校外)	校内97% / 校外3%
授業科目 概要	3年DPTに広範囲に対応すべく、ファッション・ウェディング・バレエ衣装・リメイクを盛り込んだ産学授業。産学ゲスト来校時は午後授業にシフトする。		
授業の到達目標・ テーマ	ファッション業界・衣装業界・リメイク業界を体験できる内容として先方からだされる課題に対して考察し自己企画を構成しそれを相手に対して表現する演習		
企業連携 (連携企業)	サンエービーディー、Silent Club, b.c.cotume, リーバイ・ストラウス・ジャパン,		
使用教科書 他教材	担当教師資料、産学先資料		
授業課題	授業態度、課題、産学先への課題プレゼンあり。産学課題の評価に関しては先方から10段階評価をいただく予定。		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/87.5時間	

授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	2020/4/13	アパレルの商品企画とは？	概要レクチャー
2	2020/4/20	↓	同素材デザイン展開
3	2020/4/17	↓	クロスコーディネート商品企画
4	2020/5/11	フリースマートとは？	フリースマートをリサーチしまとめる(バワホ)
5	2020/5/18	フリースマート産学課題 訪問	事業部長よりブランドコンセプト及びシーズンテーマの説明
6	2020/5/25	↓	商品企画課題の作成
7	2020/6/1	↓	
8	2020/6/8	↓	提出→フィードバック
9	2020/6/15	Silent Club wedding dress plan	リゾードホテルと連携したウェディングドレス企画提案
10	2020/6/22	↓	
11	2020/6/29	↓	
12	2020/7/6	↓	
13	2020/7/13	課題評価	フィードバック
14	2020/9/7	バレエ演目リサーチ	3年生は2年生より高度な課題となる
15	2020/9/14	太田社長の講義	バレエ衣装とは？サンプル拝見、衣装企画課題説明
16	2020/9/28	衣装企画ワーク	
17	2020/10/5	↓	
18	2020/10/12	太田社長指導	採寸演習、アクセサリー類製作課題の方法指導
19	2020/10/19	↓	
20	2020/11/2	↓	
21	2020/11/9	太田社長講評	各自バレエ衣装企画プレゼン 講評いただく
22	2020/11/16	リベンジ	再提出に向け修正
23	2020/11/30	↓	再提出
24	2020/12/7	デニムに関する知識	
25~35		自主課題制作	

[成績評価方法]

授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。
なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。

[授業の特徴・形式と教員紹介]

前半は講義を進め、企業と連携した産学連携の授業を行う。担当教員はJILSTUARTなど数々のアパレルブランドのプロデュースを手掛け、サンエーグループ会社の社長に就任した経験があり、その経験と人脈を活かして産学連携の授業を展開する。
特にウェディングドレスとバレエ衣装の企画に力点を置く。

授業科目名	パターン製図・CAD実習	講師名	リビ 裕子
実施 学科・クラス	専攻科	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	CADで製図をする	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	原型・シャツ・ジーンズの製図をする		
授業の到達目標・ テーマ	CADの使い方を習得する		
企業連携 (連携企業)	無し		
使用教科書 他教材	池田の教科書・プリント		
授業課題	CADの使い方を習得出来たかどうか		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/前期/37.5時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月7日	オリエンテーション	
2	4月14日	CADの扱い方	池田の原型を作成しながら覚える
3	4月21日		自分の 々
4	4月28日	シャツの製図	池田の原型を使用して製図をする
5	5月12日		々
6	5月19日		自分の寸法で製図をする
7	5月26日		々
8	6月2日		々
9	6月9日		工業用パターンを作成する
10	6月16日	ジーンズの製図	中寸法で製図する
11	6月23日		々
12	6月30日		自分の寸法で製図する
13	7月7日		シーチングで仮縫いチェック
14	7月14日		々
15	7月21日		総復習
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。 なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] 担当教員は企業パタンナー、デザイナー育成のスペシャリストで受賞歴多数。縫製に関する本も出版している。 豊富な経験を活かして、CADの扱いや製図の方法を指導していく。			

授業科目名	テキスタイル実習	講師名	山内 講平
実施 学科・クラス	専攻科	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	講義、実習	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	染めの種類、技法説明、オリジナルテキスタイルの企画発案、手描きからイラストレーター・フォトショップを使用しての制作。後期、プリントデザインに向けた下準備。		
授業の到達目標・ テーマ	染める素材、原料の選定から実技を通して習得。既存にないオリジナルテキスタイルの作り方を学ぶ。		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	コットン生地、輪ゴム、割り箸、mac Illustrator Photoshop		
授業課題	染色実習での制作物、筆記テストでの採点。制作物のクオリティー、独創性からmacの基本操作が出来るか、応用が出来るかチェックする。		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/前期/35時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月8日	テキスタイルとは	テキスタイルの基本を学ぶ 織物との違い 国内外のテキスタイルに強いブランド紹介
2	4月15日	染めの種類を知る、先染め、後染め、適切な生地	染めの種類、国内外の伝統的な技法、写真資料で見る
3	4月22日	染め実習	輪ゴムを使って豆絞り染め
4	5月13日	染め実習	割り箸を使って板締め絞り
5	5月20日	染め実習 T-sh 筆記テスト	これまでの実習内容を組み合わせたオリジナル制作
6	5月27日	テスト解説、サステナブル、再生生地とは	これからの時代にあった生地、現状など
7	6月3日	mac演習	mac基本操作説明、応用
8	6月10日	スポーツイベント	
9	6月17日	mac演習	photoshopを使用してパターンを作る
10	6月24日	mac演習	Illustratorスウォッチを使ったパターン制作、描画モードなど機能説明
11	7月1日	テスト mac演習 課題制作	手描きで描いたものをIllustrator、Photoshopを使って制作する
12	7月8日	mac演習 課題制作 入稿方法説明	制作、入稿方法を学ぶ
13	7月15日	mac演習 課題制作、提出	制作最終確認、提出
14	7月22日	総まとめ	
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。 なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] 実際に染めの実習や Macを使用してパターンを制作する等、実践的な授業を行う。 担当教員は、アパレル企業内でPRやバイヤー、スタイリストなどの経験があるので、業界での実務経験に基づいた授業を展開する。			

授業科目名	高度造形実習	講師名	リビ 裕子
実施 学科・クラス	専攻科	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	製図・仮縫い・縫製実習	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	特殊素材なども使用して、オリジナルデザインの服を制作		
授業の到達目標・ テーマ	これまで学んだ知識と技術の応用をしながら服を仕立てる		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	池田式製図法の教科書・授業ファイル・その他		
授業課題	これまで学んだ課題制作の知識と技術を更に向上させた作品が出来たかどうか		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/1年・前期/37.5時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月9日	前期終了ショー作品制作	各自アイデアを出し合って打ち合わせをする
2	4月16日		素材とイメージが考慮されたデザイン画を描く
3	4月23日	製図	製図をする
4	4月30日		々
5	5月7日		々
6	5月14日		シーチング仮縫いチェック
7	5月21日		々
8	5月28日	縫製	生地裁断・芯貼り
9	6月4日		々
10	6月11日		縫製
11	6月18日		々
12	6月25日		々
13	7月2日		々
14	7月9日		完成
15	7月16日	前期終了ショー	
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] 担当教員は企業パタンナー、デザイナー育成のスペシャリストで受賞歴多数。縫製に関する本も出版している。長年のパタンナー経験を活かしてプロの服作りのテクニックを伝授していく。			

授業科目名	卒業制作ファッションショー制作実習	講師名	リビ 裕子 ・ 鷲 典子
実施 学科・クラス	専攻科	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	ショー企画、全体会議	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	ファッションショーのテーマおよびカテゴリー名を決める。衣装デザインを準備する。		
授業の到達目標・ テーマ	話し合いの協調性・自己主張・デザインの発想力を養う。		
企業連携 (連携企業)	無し		
使用教科書 他教材	ノートパソコン		
授業課題	協調性・自己主張・デザインの発想力を見る。		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/前期/37.5時間	

授業計画及び学習の内容

回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月10日	リーダー決定	全体テーマ出し
2	4月17日		仮決定
3	4月24日		プレゼンテーション準備
4	5月1日		理事長にプレゼンテーションをする
5	5月8日	カテゴリー案出し	話し合い
6	5月15日		仮決定
7	5月22日		担当分け
8	5月29日		プレゼンテーション準備
9	6月5日		々
10	6月12日		理事長にプレゼンテーションをする
11	6月19日	カテゴリーごとに分かれて	デザイン発想
12	6月26日		々
13	7月3日		デザインの打ち合わせをする
14	7月10日		々
15	7月17日	前期終了ショー	

[成績評価方法]

授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。

なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。

[授業の特徴・形式と教員紹介]

担当教員は企業パタンナー、デザイナー育成のスペシャリストで受賞歴多数。縫製に関する本も出版している。

その経験を活かして、卒業ファッションショーの今年度テーマ等のプレゼンの指導をしていく。

授業科目名	卒業制作実習	講師名	リビ 裕子
実施 学科・クラス	専攻科	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	オリジナルデザインの服を制作する		
授業の到達目標・ テーマ	授業の課題で習得した事をさらに向上させる		
企業連携 (連携企業)	無し		
使用教科書 他教材	池田の教科書・今までに勉強して来たノート		
授業課題	これまで学んで来た事を十分に活かしているかどうか、授業の中で課題を出す。		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/前期/37.5時間	
授業計画及び学習の内容			
回	月 日	ステップ・課題目的・目標	内容
1	4月10日	前期終了ショー作品制作	クラスでアイデアを出し合う
2	4月17日		各自デザイン画を描く
3	4月24日	製図	製図をする
4	5月1日		々
5	5月8日		々
6	5月15日		シーチング仮縫い
7	5月22日		々
8	5月29日	縫製	生地裁断・芯貼り
9	6月5日		々
10	6月12日		縫製
11	6月19日		々
12	6月26日		々
13	7月3日		々
14	7月10日		完成
15	7月17日	前期終了ショー	
[成績評価方法]			
授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。 なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介]			
担当教員は企業パタンナー、デザイナー育成のスペシャリストで受賞歴多数。縫製に関する本も出版している。 経験を活かしてプロの服作りのテクニックを伝授していく。			

授業科目名	服飾造形	講師名	リビ 裕子
実施 学科・クラス	専攻科	分別(必修・選択・ 自由選択)	必修
授業方法(講義・ 演習・実技)	実技	場所 (校内・校外)	校内
授業科目 概要	テーラードジャケット三面構成を総裏仕立てで作成する。アパレル企業仕立てのオールマシンメイドを使用。		
授業の到達目標・ テーマ	テーラードジャケット三面構成を総裏仕立てで作成できるようにする。		
企業連携 (連携企業)			
使用教科書 他教材	池田の教科書・今までに勉強して来たノート		
授業課題	これまで学んで来た事を十分に活かしているかどうか、授業の中で課題を提出する。		
合計時間数	(2コマ/2.5H計算)	2020年度/後期/152.5時間	
授業計画及び学習の内容			
回数	月日	ステップ・課題目的・目標	内容
1～3回	9月～	メンズ三面構成のテーラードジャケット製図	CADと連動して行う。
4～6回			々
7～9回			シーチング縫い・仮縫いチェック
10～12回		特殊素材を使用、オリジナルデザインJK製図	CADと連動して行う
13～15回			々
16～18回			シーチング縫い・仮縫いチェック
19～21回			々
22～24回		実物制作	裁断・真坡里・テープ貼りスタート
25～27回			々
28～30回		卒業作品制作	モデルの原型作成・仮縫い
31～33回			製図・シーチング縫い
34～36回			々
37～39回			シーチング仮縫い・補正
40～42回		実物制作	生地裁断・芯はり・その他縫製スタート
43～45回			々
46回			々
47～49			々
50～52回			々
53～55回			々
56～58回			々
59～61回			々
[成績評価方法] 授業への参加・意欲・習熟度を100点、授業課題の評価を100点、定期試験を100点としてその平均値を算出し成績評価を行う。 なお、出席率が75%未満、成績評価が60点未満の場合は補習の対象となる。出席率が65%未満の場合は、成績評価の対象外となる。			
[授業の特徴・形式と教員紹介] 担当教員は企業パタンナー、デザイナー育成のスペシャリストで受賞歴多数。縫製に関する本も出版している。長年のパタンナー 経験を活かしてプロの服作りのテクニックを伝授していく。			